



# 知って欲しい。生物園の取り組み

## 第3回

### ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム

令和5年2月10日 送付枚数：3枚

！ここがポイント！

#### ■生息域外保全の拠点としての生物園

本種は長崎県対馬北部にのみ生息し、環境省の「国内希少野生動植物種指定」である絶滅寸前の蝶。生物園では2014年から生息域外保全（※）を行い、緊急避難・飼育技術開発・繁殖などの活動をしています。

※生息域外保全とは、生物や遺伝資源をその種の生息域外において保全し、それら生物の科学的知見を得るとともに、繁殖して絶滅を回避する取り組みです。

#### ■足立区で初めて開催

第1・2回の対馬市開催から、今回は、本種の生息域外保全にはじめて取り掛かった生物園がある足立区で開催。開催は公開、ライブ配信（限定公開）もあり。

#### ■対馬市から足立区へ感謝状

シンポジウムに先立ち、生物園の生息域外保全などの様々な貢献に対して感謝の意を表し、対馬市長が足立区長へ感謝状を授与します。



▲ツシマウラボシシジミ

#### ◆生物園とツシマウラボシシジミ

「ツシマウラボシシジミ」は、2012年に絶滅に瀕していることが判明。翌2013年、保全団体から大温室という飼育環境が整っている生物園に「繁殖試験ができないか」という相談が寄せられたことがきっかけで繁殖試験を開始。同年に飼育施設での交尾と採卵に初成功した。

2014年には環境省から「生息域外保全推進モデル事業」へ正式な協力要請、さらに「モデル事業」から「保護増殖事業」へと移行する中で関わりを深め、生物園の技術・活動が「交尾に適した環境」「室内での採卵方法」「幼虫の飼育」などの解明に大きく貢献。

今回のシンポジウムは足立区での開催。保全活動とともに生物園の取り組みを多くの方に知ってもらいたいと考えています。



#### 第3回ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム 概要

- 場 所：竹の塚地域学習センター4F ホール（足立区竹の塚 2-25-17）
- 日 時：令和5年3月21日（火・祝）13：00～16：30
- 内 容：
  - ・感謝状授与式（対馬市長から足立区長へ）
  - ・基調講演「ツシマウラボシシジミの現状と持続的保全をめざして」
  - ・各講演 ※3つの講演があります
  - ・総合討論「ツシマウラボシシジミ保全に向けた未来への展望」
- 応募方法：①会場参加 3/20までにWeb申込か電話申込  
②オンライン参加 Web申込

※取材希望の場合は、報道広報課〔電話 03-3880-5816〕へ事前に連絡ください。

■本件に関する問い合わせ先  
足立区生物園 園長：関根 広報：荒牧・大川 ☎03-3884-5577

■発信者  
政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ☎070-5598-7874

小さな生物園が

絶滅危惧のチョウを守っていた。



第3回

# ツシマウラボシシジミ 保全シンポジウム



ツシマウラボシシジミを救った  
生息域外保全と昆虫館

2023. 3. 21

13:00-16:30

会場：竹の塚地域学習センター（講堂）

※オンラインでも観覧可能です。

- ・感謝状授与式 比田勝 尚喜（対馬市長）/近藤 やよい（足立区長）
- ・基調講演 矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）
- ・講演 中村康弘（特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会）
- ・講演 水落 渚（足立区生物園）
- ・講演 神宮周作（対馬市農林水産部自然共生課）
- ・総合討論 進行：矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）

ツシマウラボシシジミ



長崎県対馬北部にのみ分布する日本固有の小さなシジミチョウ。近年シカによる食害などで急速に生息数が減少。

国内  
希少野生  
動植物種

絶滅危惧  
IA

対馬市  
天然  
記念物



足立区



対馬市



詳細と申込方法  
は裏面へ



# ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム

—ツシマウラボシシジミを救った生息域外保全と昆虫館—



## ツシマウラボシシジミって？

日本では長崎県対馬北部にのみ分布する開張\*2cmほどの小さなシジミチョウです。近年シカによる食害などで生息数が急激に減少しており、2017年には種の保存法「国内希少野生動植物種」に指定されました。環境省や対馬市をはじめ、市民や飼育施設など様々な方々の地道な活動によって保全されています。今回は本種の緊急避難から飼育下繁殖までの生息域外保全の拠点となった生物園のある足立区で、保全の経緯とこれからについて考えます。

※開張：翅を開いた時の左右の端から端までの長さ。

2023.3.21 13:00-16:30

会場：竹の塚地域学習センター（講堂） ※オンラインでも観覧可能です。

## 感謝状授与式

13:00- 感謝状授与式

比田勝 尚喜（対馬市長）

近藤 やよい（足立区長）

本種の生息域外保全への貢献を称え、生息地である対馬市の市長より感謝状の授与が行われます。



## シンポジウム

13:40- 矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）  
基調講演 「ツシマウラボシシジミの現状と持続的保全をめざして」

14:00- 中村康弘（特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会）  
講演① 「最後に残った生息地でのツシマウラボシシジミの再発見！緊急の保全活動へ」

14:20- 休憩(10分間)

14:30- 水落 渚（足立区生物園）  
講演② 「生物園にきたツシマウラボシシジミの飼育下繁殖への挑戦」

14:50- 神宮周作（対馬市農林水産部自然共生課）  
講演③ 「ツシマウラボシシジミの再導入と域内保全への貢献」

15:10- 進行：矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）  
総合討論 「ツシマウラボシシジミ保全に向けた未来への展望」



## 会場アクセス

### 竹の塚地域学習センター

〒121-0813 足立区竹の塚2-25-17



- ・東武スカイツリーライン「竹ノ塚駅」より徒歩7分
- ・東武バス綾20・24系統、竹14・15系統「公園前」下車1分
- ・都バス北47系統「公園前」下車1分
- ・東武バス竹17系統「竹の塚一丁目」下車1分

## お申し込み方法

### 【会場参加】

WEBフォームまたは電話（下記の問い合わせ先）でのお申し込みになります。フォームの方は右のQRコードを読み取ってください。

### 【オンライン参加】

WEBフォームのみでのお申し込みになります。右のQRコードを読み取ってください。

## お問い合わせ

 **足立区生物園**  
Adachi Park of Living Things

TEL:03-3884-5577



【会場参加】  
申込みWEBフォーム



【オンライン参加】  
申込みWEBフォーム